令和５年度
（２０２３年度）

入 学 者 選 抜 要 項

岡山県立大学
OKAYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

目　　次

Ⅰ　入学者受入れの方針
（アドミッション・ポリシー）……1
・保健福祉学部
・情報工学部
・デザイン学部
Ⅱ　募集人員 ……17
Ⅲ　入試日程 ……17
Ⅳ　一般選抜 ……18
(1)　出願資格
(2)　選抜方法・配点
(3)　追試験
Ⅴ　特別入試 ……27
1　総合型選抜 ……27
(1)　出願資格
(2)　選抜方法・配点
2　学校推薦型選抜 ……28
(1)　出願資格
(2)　選抜方法・配点
3　帰国生入試 ……30
(1)　出願資格
(2)　選抜方法・配点
4　私費外国人留学生入試 ……31
(1)　出願資格
(2)　選抜方法・配点
Ⅵ　障害等のある入学志願者の事前相談 ……33
Ⅶ　学生募集要項等の入手方法 ……34

＜重要なお知らせ＞

新型コロナウイルス感染症の影響により、入試日程や実施方法が変更される可能性があります。
後日公表する学生募集要項や、ウェブサイトに掲載する最新の情報をご確認ください。

出願方法（インターネット出願）

岡山県立大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、パソコン・タブレット・スマートフォン等を利用したインターネット出願を導入しています。

インターネット出願を利用することにより、出願期間中は 24 時間いつでも出願登録ができます。

本学HPへアクセス → 募集要項の確認 → 出願登録 → 検定料の支払い → 出願書類の印刷 → 出願書類の郵送 → 出願完了

なお、大学入学共通テストの成績請求票や調査書等、出願期間中に郵送が必要な書類があるので、ご留意ください。

詳細については、後日公表する学生募集要項及び本学ウェブサイトを確認してください。

各入学者選抜区分の学生募集要項は、本学ウェブサイト上に公表されますので、閲覧・ダウンロードをしてください。紙媒体（冊子）での配付は行いません。

Ⅰ　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

岡山県立大学の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

岡山県立大学は、保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部の3学部からなり、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として、平成5年に設立されました。

本学は、建学の理念の実現に向け、人間・社会・自然の関係性を重視した研究と教育を行い、豊かな人間性と教養を兼ね備え、深い専門性をもって主体的に課題発見・解決に取り組むことにより、グローバル化が進展する中、地域社会から広く国際社会において活躍し、新しい時代を切り拓くための能力と意欲を有する人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

本学は、人材育成の方針に基づき、本学での学びに適う能力及び素養を、入学者が備えるべきものとして、以下のとおり定めます。

本学は、学生に高等学校において主体的で継続的な学習により幅広い分野での基礎学力を身につけていることを求めるとともに、これらの知識に基づく論理的な思考力や表現力、基礎的な英語力を含めたコミュニケーション能力ならびに人間性や倫理観などの素養を磨いておくことを求めます。

【入学者選抜の基本方針】

本学は、入学者に求める能力・素養を有しかつ、多様な学生を受け入れるため、以下の選抜の方針を基本として、教育課程ごとに定められた入学者受入れの方針に従い、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜などの入学者選抜の機会を設けます。

一般選抜では、教科に関する知識・理解及び思考力・判断力・表現力を評価する学力検査を重視し、さらに高等学校で修得した教科の学習成績及び主体的学習活動の成果を評価するために調査書等や面接を活用した選抜を行います。

また、総合型選抜では、地域社会の発展に貢献する意欲ならびに主体的学習活動の成果をふまえ多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する調査書と面接を重視し、さらに思考力・判断力・表現力を評価する学力検査による選抜を行います。

さらに、学校推薦型選抜では、本学での学習の準備状況及び意欲を評価する面接を重視し、さらに教科に関する知識・理解及び思考力・判断力・表現力に関する学力検査ならびに高等学校で修得した教科の学習成績及び主体的学習活動の成果を評価するために調査書等を活用した選抜を行います。

以上のほか、課程により帰国生入試及び私費外国人留学生入試を実施し、多様な人材の受入れを行います。

なお、各教育課程の入学者選抜における選抜方法及び評価基準については、以上の選抜の方針をふまえた上で、課程ごとの入学者受入れの方針に示されます。

保健福祉学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

保健福祉学部では、地域の人々の健康維持と増進に積極的に貢献できる保健、医療、福祉、教育に関する幅広い知識と技術を修得し、専門分野に関する課題に対して科学的、論理的思考や分析に基づいて主体的に解決する能力を備え、高い倫理観と豊かな人間性にあふれ、さらに多様な人々と協働して社会の変化やグローバル化に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を有する人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

保健福祉学部の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力をしっかり身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いておいてください。

【入学者選抜の基本方針】

保健福祉学部の各学科では、上記のような学生を多元的な評価尺度で選抜するために、一般選抜（前期日程、後期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。なお、現代福祉学科では総合型選抜を実施します。各学科の高等学校等で修得すべき具体的な内容や入試区分・方法・評価基準については、各学科のアドミッション・ポリシーをご覧ください。

看護学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

看護学科は、人々が健康で豊かなその人らしい人生が実現できるように、看護の専門的知識と技術を活かして、地域におけるあらゆる健康レベルの人々の生涯を通じた健康を支援し、地域社会、国際社会に貢献できる看護専門職の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

看護学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、看護の多様な側面を学ぶ上で必要な理数系及び文科系科目の基礎学力をしっかり身につけておいてください。

さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、人々の健康に関心をもち主体性をもって多様な人々と協働する態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語：文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な文章表現力
数学：「数学Ⅰ・数学Ａ」における基礎的内容の理解と論理的思考力
英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力
理科：基礎的な概念・原理・法則の理解及び自然を総合的に見る能力
社会：人間を取り巻く社会の仕組みと生活との関連を理解するための基礎的な知識

【入学者選抜の基本方針】

看護学科では、上記のような学生を多元的な評価尺度で選抜するために、一般選抜（前期日程、後期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、面接及び書類審査（調査書＋志望理由書等）により評価します。

（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストで5教科5科目又は5教科6科目を課し、高等学校で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や看護学を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に大学入学共通テストの英語では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接は、集団による方法で実施し、調査書による資格・検定試験の成績、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、海外留学等の経験の確認を含め、志望理由書も参考にしながら表現力、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等（小論文、面接（英語試問含む）及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活

動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等（小論文、面接及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査（調査書等）による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL（iBT）、面接及び書類審査（身上記録＋志望理由書等）を課します。

日本留学試験では、高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力、表現力、さらに本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要な自然科学・生命科学に関する知識・技能を評価します。

TOEFL（iBT）では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。また、身上記録や志望理由書を参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

栄養学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

栄養学科は、人間、健康、社会に関する幅広い知識と論理的な思考力をもって、食と健康の相互関係を科学的に理解し、多様な人々と協働して栄養学を人の健康維持・増進、病気の予防・治療へと応用するとともに未知なる事象の解明に向けて主体的に研究する姿勢を身に付け、岡山県から広く地域社会、国際社会に貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

栄養学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、幅広い科目における基礎学力、特に栄養学の理解に必要となる「化学」や「生物」などの自然科学の基礎をしっかり身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科：物理、化学、生物の中から2科目以上の基本的内容の理解と、化学もしくは生物に関する応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学：「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」における基礎的な内容の理解と応用力

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と英語の学習習慣

国語：文章読解力と、論理的思考に基づいて行った自らの判断を正しく伝えるための基礎的な文章表現力

社会：地理歴史・公民における基礎的な内容の理解

【入学者選抜の基本方針】

栄養学科では、上記のような学生を多元的な評価尺度で選抜するために、一般選抜（前期日程、後期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト及び書類審査（調査書＋志望理由書等）により評価します。前期日程では個別学力検査等を課します。

（前期日程）

大学入学共通テストで5教科7科目又は5教科8科目を課し、高等学校で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査等では理科1科目（化学基礎・化学又は生物基礎・生物）を課し、本学科で学ぶ上で基礎となる自然科学・生命科学に関する知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

書類審査では、調査書による研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、志望理由書も参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評

価します。
（後期日程）
　大学入学共通テストで5教科7科目又は5教科8科目を課し、高等学校で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。
　書類審査では、調査書による研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、志望理由書も参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【学校推薦型選抜】
　個別学力検査等（小論文、面接（理科、英語試問を含む）及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。
　個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。理科の試問（化学基礎・生物基礎）では、化学基礎と生物基礎において基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

【帰国生入試】
　個別学力検査等（小論文、面接（理科試問を含む）及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。
　個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査（調査書等）による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。理科の試問（化学基礎・生物基礎）では、化学基礎と生物基礎において基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

【私費外国人留学生入試】
　日本留学試験、TOEFL（iBT）、面接及び書類審査（身上記録＋志望理由書等）を課します。
　日本留学試験では、高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力、表現力、さらに本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要な自然科学・生命科学に関する知識・技能を評価します。
　TOEFL（iBT）では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。
　面接では日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。また、理科の試問では基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、身上記録や志望理由書を参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

現代福祉学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】
　現代福祉学科は、少子高齢社会やグローバル社会といった複雑化する現代社会において生じている多様な社会的、個人的ニーズを科学的に解明し、すべての人々の健康と幸福の増進のために、介護福祉学を含む社会福祉学関連の学問を基盤に、グローバルセンスをもって地域社会や国際社会に能動的、創造的に貢献できるソーシャルワーカー等の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】
　現代福祉学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い教科における基礎学力、特に「国語」「英語」「地理歴史・公民」などの基礎をしっかり身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、岡山県内から広く地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。
※高等学校等で修得すべき具体的な内容
　国語：文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための表現力
　社会：地理歴史・公民における基礎的な内容の理解
　英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力
　数学：基礎的な概念・法則の理解及び論理的思考力

理科：基礎的な概念・原理・法則の理解及び自然を総合的に見る能力

【入学者選抜の基本方針】

現代福祉学科では、上記のような学生を多元的な評価尺度で選抜するために、一般選抜（前期日程、後期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、面接及び書類審査（調査書＋志望理由書等）により評価します。

（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストで3教科3科目又は3教科4科目を課し（国語・英語必須）、高等学校で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では、調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、資格・検定試験の成績、研究活動やボランティア活動の実績、海外留学等の経験の確認を含め、志望理由書も参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力を評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等（小論文、面接（英語試問含む）及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、推薦書や志望理由書も参考にしながら、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等（面接（英語、現代社会、倫理、政治・経済の試問を含む）及び書類審査（調査書＋志望理由書等））により評価します。

面接では、岡山県をはじめ、地域社会や国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲を重視しつつコミュニケーション能力、倫理観とともに評価します。書類審査（調査書等）では、高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、資格・検定試験の成績、研究活動やボランティア活動の実績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、志望理由書も参考にしながら、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、地域社会や国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に多様な人々と協働して学び続けようとする態度を評価します。また、試問（現代社会、倫理、政治・経済）では、基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等（小論文、面接及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査（調査書等）による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL（iBT）、面接及び書類審査（身上記録＋志望理由書等）を課します。

日本留学試験では、高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力、表現力、さらに本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要な国語に関する知識・技能を評価します。

TOEFL（iBT）では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。また、身上記録や志望理由書を参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

子ども学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

子ども学科は、少子社会の到来の中、すべての子どもたちの健全育成と子育てしやすい社会環境づくりが重要視されている現代社会において、子どもの育ちと支援にかかわる理論を理解し、子どもの学びと育ちを支えることのできる実践力と生涯学び探求し続ける姿勢を身につけた保育・幼児教育分野で活躍できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

子ども学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い教科における基礎学力、特に「国語」や「地理歴史・公民」などの社会科学の基礎をしっかり身につけておいてください。これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力、英語を含むコミュニケーション能力を磨いてください。それと共に、学校行事や課外活動、地域活動への参加を通し、様々な体験を重ねるなかで、子どもの立場から考え、実践するために必要となる豊かな感性、倫理観、岡山県内から広く地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度や表現力などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語：文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための表現力
社会：地理歴史・公民における社会の中で主体的に生きる資質としての基礎的な内容の理解と論理的思考力
英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力
数学：基礎的な概念・原理・法則の体系的理解及び考察し表現する能力
理科：基礎的な概念・原理・法則の理解及び自然の事物・現象を分析的・総合的に考察する能力

【入学者選抜の基本方針】

子ども学科では、上記のような学生を多元的な評価尺度で選抜するために、一般選抜（前期日程、後期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、面接及び書類審査（調査書＋志望理由書等）により評価します。

（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストで3教科3科目又は3教科4科目を課し（国語・英語必須）、高等学校で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能とそれに基づく思考力や判断力、表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では、調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎学力、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績等の確認を含め、志望理由書も参考にしながら思考力や判断力、表現力、専門職への志向性、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等（小論文、面接（英語試問含む）及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、推薦書や志望理由書も参考にしながら、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、思考力や判断力、表現力、専門職への志向性、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等（小論文、面接及び書類審査（調査書＋推薦書＋志望理由書等））により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査（調査書等）による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、思考力や判断力、表現力、専門職への志向性、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL（iBT）、面接及び書類審査（身上記録＋志望理由書等）を課します。

日本留学試験では、高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力、表現力、さらに本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要な国語に関する知識・技能を評価します。

TOEFL（iBT）では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。また、身上記録や志望理由書を参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

情報工学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報工学とは、情報の伝送・認識・処理・利用にかかわるハードウェアとソフトウェアの技術を研究開発するための学問です。情報工学部は、情報通信工学科、情報システム工学科、人間情報工学科の3学科で構成され、情報工学の知識を基盤に、電子・通信工学、機械工学、人間工学等の関連工学分野の知識を複合的に修得し、豊かな教養と人間性に基づいてそれらを総合的に活用し、グローバルな視点と主体性・協調性をもって人間及び環境との調和を図りながら高度情報化社会の持続的発展に貢献できる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

情報工学部の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかり身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

【入学者選抜の基本方針】

情報工学部の各学科では、上記のような学生を多元的な評価尺度で選抜するために、一般選抜（前期日程、中期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。各学科の高等学校で修得すべき具体的な内容や入試区分・方法・評価基準については、各学科のアドミッション・ポリシーをご覧ください。

情報通信工学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報通信工学科は、日々進歩し続ける情報通信技術（ICT）を支えている情報工学、通信工学、電子工学の3つの学問領域を共通の基盤として、各種情報システムの知能化等に必要となるソフトウェア技術及びシステムの超高速化等に欠かせないハードウェア技術を有し、ICT の利用者視点を理解するとともに、豊かな教養と人間性に基づくグローバルな視点から主体性・協調性をもって社会に貢献できる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

情報通信工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかり身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学：数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲにおける内容の理解と応用力

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力

国語：文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な（文章）表現力

【入学者選抜の基本方針】

情報通信工学科では、一般選抜（前期日程、中期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施し、複数の入学選抜方式を採用することにより、多様な人材の受入れを目指します。そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、個別学力検査及び書類審査（調査書等）により評価します。

（前期日程）

大学入学共通テストで4教科6科目を課し、高等学校で修得すべきかつ情報通信工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学（数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ）を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査（調査書等）では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、前期日程では、大学入学共通テストに比重を置き、幅広い教科・科目の知識・技能と、これに基づく思考力・判断力・表現力等を重視します。

（中期日程）

大学入学共通テストで4教科6科目を課し、高等学校で修得すべきかつ情報通信工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学（数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ）を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査（調査書等）では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、中期日程は前期日程より個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

【学校推薦型選抜】

面接（試問を含む）及び書類審査（調査書、推薦書）により評価します。

面接（試問を含む）では、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な表現力、人間性や倫理観を評価するとともに、各教科の試問では以下に着目します。数学、物理の試問では、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ並びに物理基礎・物理における基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

書類審査（調査書、推薦書）では、高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能とともに、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

【帰国生入試】

面接（試問を含む）及び書類審査（身上記録、志望理由書等）により評価します。

面接では、出願書類（身上記録、志望理由書等）に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報通信工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL（iBT）、面接（試問を含む）及び書類審査（身上記録、志望理由書等）により評価します。

面接では、出願書類（身上記録、志望理由書等）に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報通信工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

TOEFL（iBT）では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

日本留学試験（日本語、理科（物理必須）、数学）では、情報通信工学科で学ぶために必要な日本語能力や専門分野を理解するために必要な数学、物理に関する基礎学力を評価します。

情報システム工学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報システム工学科は、コンピュータの発展に貢献できる情報工学、力学に基礎を置くものづくりのための機械工学、人間と機械やコンピュータを結び付けるインタフェース工学などの学問を修得し、領域横断型のエンジニアとしてのセンスと主体性・協調性をもって、グローバル社会において豊かな教養と人間性に基づき、新たな工学的価値の創出に積極的に参加できる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

情報システム工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかり身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力
数学：数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲにおける内容の理解と応用力
英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力
国語：文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な（文章）表現力

【入学者選抜の基本方針】
情報システム工学科では、一般選抜（前期日程、中期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施し、複数の入学選抜方式を採用することにより、多様な人材の受入れを目指します。そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】
大学入学共通テスト、個別学力検査及び書類審査（調査書等）により評価します。
（前期日程）
大学入学共通テストで4教科6科目を課し、高等学校で修得すべきかつ情報システム工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。
個別学力検査では数学（数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ）を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。
書類審査（調査書等）では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。
なお、前期日程では、大学入学共通テストに比重を置き、幅広い教科・科目の知識・技能と、これに基づく思考力・判断力・表現力等を重視します。
（中期日程）
大学入学共通テストで4教科6科目を課し、高等学校で修得すべきかつ情報システム工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。
個別学力検査では数学（数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ）を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。
書類審査（調査書等）では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。
なお、中期日程は前期日程より個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

【学校推薦型選抜】
面接（試問を含む）及び書類審査（調査書、推薦書）により評価します。
面接（試問を含む）では、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な表現力、人間性や倫理観を評価するとともに、各教科の試問では以下に着目します。数学、物理の試問では、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ並びに物理基礎・物理における基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。
書類審査（調査書、推薦書）では、高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能とともに、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

【帰国生入試】
面接（試問を含む）及び書類審査（身上記録、志望理由書等）により評価します。
面接では、出願書類（身上記録、志望理由書等）に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報システム工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

【私費外国人留学生入試】
日本留学試験、TOEFL（iBT）、面接（試問を含む）及び書類審査（身上記録、志望理由書等）により評価します。
面接では、出願書類（身上記録、志望理由書等）に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報システム工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。
TOEFL（iBT）では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

日本留学試験（日本語、理科（物理必須）、数学）では、情報システム工学科で学ぶために必要な日本語能力や専門分野を理解するために必要な数学、物理に関する基礎学力を評価します。

人間情報工学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

人間情報工学科は、人間の生活環境を支える情報工学と、人間の能力や特性をモデル化する生体機能学、情報技術をものづくりに活かした機器設計学の3つの学問領域に関する深い知識及び技術の活用と、豊かな教養と人間性に基づき、グローバルな視点から多種多量な情報が組み込まれた人間との高い親和性をもつ新たなソフトウェア・ハードウェアの設計・開発ができる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

人間情報工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかり身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力
化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学：数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲにおける内容の理解と応用力

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力

国語：文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な（文章）表現力

【入学者選抜の基本方針】

人間情報工学科では、一般選抜（前期日程、中期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施し、複数の入学選抜方式を採用することにより、多様な人材の受入れを目指します。そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、個別学力検査及び書類審査（調査書等）により評価します。

（前期日程）

大学入学共通テストで4教科6科目を課し、高等学校で修得すべきかつ人間情報工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学（数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ）を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査（調査書等）では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、前期日程では、大学入学共通テストに比重を置き、幅広い教科・科目の知識・技能と、これに基づく思考力・判断力・表現力等を重視します。

（中期日程）

大学入学共通テストで4教科6科目を課し、高等学校で修得すべきかつ人間情報工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学（数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ）を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査（調査書等）では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、中期日程は前期日程より個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

【学校推薦型選抜】

面接（試問を含む）及び書類審査（調査書、推薦書）により評価します。

面接（試問を含む）では、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な表現力、人間性や倫理観を評価

するとともに、各教科の試問では以下に着目します。数学、物理の試問では、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ並びに物理基礎・物理における基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

書類審査（調査書、推薦書）では、高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能とともに、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

【帰国生入試】

面接（試問を含む）及び書類審査（身上記録、志望理由書等）により評価します。

面接では、出願書類（身上記録、志望理由書等）に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、人間情報工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL（iBT）、面接（試問を含む）及び書類審査（身上記録、志望理由書等）により評価します。

面接では、出願書類（身上記録、志望理由書等）に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、人間情報工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

TOEFL（iBT）では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

日本留学試験（日本語、理科（物理必須）、数学）では、人間情報工学科で学ぶために必要な日本語能力や専門分野を理解するために必要な数学、物理に関する基礎学力を評価します。

デザイン学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】
　デザイン学部では、学部の基礎的な共通教育に加えて、各分野の専門教育により、人間・社会・自然の調和を目指したデザインを創造できる能力を身に付け、課題を主体的に発見・解決し、地域・国際社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】
　デザイン学部では、教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力をしっかり身に付けていることを求めます。さらに、デザインを学ぶ上で基礎となる知識・技能と、これらに基づく論理的な思考力・判断力・表現力、地域や社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。
　そして、大学で身につけた知識と技能を活かして、岡山県をはじめとした地域や社会の持続的発展に貢献しようとする強い意欲をもつ人を求めます。

【入学者選抜の基本方針】
　デザイン学部の各学科では、上記のような学生を多元的な評価尺度で選抜するために、一般選抜（前期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。
　そのため、学科ごとの入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

ビジュアルデザイン学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】
　ビジュアルデザイン学科では、様々なメディアを横断する視覚伝達の知識・技能を基盤に、グラフィック・映像各分野の専門性を修得することにより、地域・国際社会の持続的発展に、主体的に寄与するグラフィックデザイナー・映像クリエイターの育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】
　ビジュアルデザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校などで学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。
　特に、ビジュアルデザイン各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・提案を進めるために必要な思考力と構成力・表現力を求めます。また、自然・文化・社会のモノ・コトを観察するとともに、その関係を考察する態度、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。
※高等学校等で修得すべき具体的な内容
　英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と長期的な英語学習を見据えた基礎学力
　国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力
　美術・工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】
　ビジュアルデザイン学科では、多様な学生を受け入れるために一般選抜（前期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。
　そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準
【一般選抜】
（前期日程）
　大学入学共通テスト、個別学力検査等（想定描写を含む鉛筆デッサン）及び書類審査（調査書等）により評価します。
　大学入学共通テストで4教科4科目又は4教科5科目を課し、本学で学ぶために必要な基礎的知識、それらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。論理的思考力、基礎的な英語力を評価するため、国語、英語を必須とします。また、残る2科目は選択とします。
　個別学力検査等では想定描写を含む鉛筆デッサンを課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な日常的な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。
　書類審査では調査書等により、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績や資格を評価します。またクラブ活動や社会活動などを参考に、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【学校推薦型選抜】
　個別学力検査等（想定描写を含む鉛筆デッサン）、及び書類（調査書、推薦書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。
　個別学力検査等では「想定描写を含む鉛筆デッサン」を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描

写するために必要な日常的な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。
　面接では、調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績や資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、大学における学習意欲とともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【総合型選抜】
　個別学力検査等（与えられた条件（図や文章）を満たす立体物の描写）、及び書類（調査書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。
　個別学力検査等では、与えられた条件（図や文章）を満たす立体物を描写することで、立体把握力と立体構想力、思考に基づく判断力・描写力を評価します。
　面接では、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲を重視しつつコミュニケーション能力、倫理観とともに評価します。
　書類では、各教科・科目の学力評価、資格・検定試験等の成績、クラブ活動や地域・社会活動の実績、留学等の多様な経験、本学の志望理由や将来展望について評価します。

【帰国生入試】
　個別学力検査等（想定描写を含む鉛筆デッサン）及び書類（調査書、推薦書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。
　想定描写を含む鉛筆デッサンでは、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な日常的な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。
　面接では、調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績や資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、大学における学習意欲とともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】
　個別学力検査等（想定描写を含む鉛筆デッサン）及び書類（志望理由書等）を参考にした面接、日本留学試験、TOEFL（iBT）により評価します。
　TOEFL（iBT）では国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語能力を評価します。また、日本留学試験から、高等学校で修得すべき教科・科目の知識・技能として、「日本語の文書能力」の基礎的能力を評価します。
　個別学力検査等では想定描写を含む鉛筆デッサンを課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な日常的な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。
　面接では、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝える日本語の表現力を評価します。
　また書類審査（志望理由書等）を参考にしながら、大学における学習意欲とともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

工芸工業デザイン学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】
　工芸工業デザイン学科では、立体的な造形教育の知識・技能を基盤に、工芸的で緻密なデザイン制作と工業的で合理的なデザイン開発に関わる幅広い知識と技能を学び、産業界や地域・国際社会で活躍でき、また社会の持続的発展に主体性を持って貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】
　工芸工業デザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校などで学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。
　特に、工芸工業デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、デザインを進めるために必要な造形力・表現力、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。
※高等学校等で修得すべき具体的な内容
　英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と長期的な英語学習を見据えた基礎学力
　国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力
　美術・工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

工芸工業デザイン学科では、多様な学生を受け入れるために一般選抜（前期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。

そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

（前期日程）

大学入学共通テスト、個別学力検査等（鉛筆デッサン）及び書類審査（調査書等）により評価します。

大学入学共通テストで3教科3科目又は3教科4科目を課し、本学で学ぶために必要な基礎的知識、それらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。論理的思考力、基礎的な英語力を評価するため、国語、英語を必須とします。また、残る1科目は選択とします。

個別学力検査等では鉛筆デッサンを課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

書類審査では調査書等により、基礎的な学力を評価します。またクラブ活動や社会活動などを参考に、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等（鉛筆デッサン）、及び書類（調査書、推薦書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では「鉛筆デッサン」を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接では、調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績や資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、大学における学習意欲とともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等（鉛筆デッサン）、及び書類（調査書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では鉛筆デッサンを課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接では、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲を重視しつつコミュニケーション能力、倫理観とともに評価します。

書類では、各教科・科目の学力評価、資格・検定試験等の成績、クラブ活動や地域・社会活動の実績、留学等の多様な経験、本学の志望理由や将来展望について評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等（鉛筆デッサン）、及び書類（調査書、推薦書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

鉛筆デッサンでは、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接では、調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績や資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、大学における学習意欲とともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

個別学力検査等（鉛筆デッサン）及び書類（志望理由書等）を参考にした面接、日本留学試験、TOEFL（iBT）により評価します。

TOEFL（iBT）では国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語能力を評価します。また、日本留学試験から、高等学校で修得すべき教科・科目の知識・技能として、「日本語の文書能力」の基礎的能力を評価します。

個別学力検査等では鉛筆デッサンを課し、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接では、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝える日本語の表現力を評価します。

また書類審査（志望理由書等）を参考にしながら、大学における学習意欲とともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

建築学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

建築学科では、建築設計を中心にインテリアから地域計画に至るまで、建築に関わる幅広い知識と高度な技能を修得し、建築設計分野で国際・地域社会の持続的発展に、主体的に寄与する建築家や建築分野の専門家の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

建築学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校などで学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、コミュニケーション能力、数理的・論理的な思考力と表現力、自然・文化・社会についての基礎的な知識を求めます。

また、建築デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・設計を進めるために必要な空間構想力を求めるとともに、現実の建築や空間・都市を持続的に観察し、人間の行動や心理を考察する態度、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語：コミュニケーション、文章読解、文章表現に必要となる英語力の長期的な学習を見据えた基礎学力

国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断を正しく伝えるための文章構成・表現力

数学：数理的な基礎能力と、論理的に解を導き出す思考力

理科・地歴・公民：基礎的な学習内容の理解

美術：立体・空間の構成力と表現力

【入学者選抜の基本方針】

建築学科では、多様な学生を受け入れるために一般選抜（前期日程）、特別入試（学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試）を実施します。

そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

（前期日程）

大学入学共通テスト、個別学力検査等（与えられた条件＜図や文章＞を満たす図形の作図）及び書類審査（調査書等）により評価します。

大学入学共通テストで4教科5科目又は4教科6科目を課し、本学で学ぶために必要な基礎的知識、それらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。基礎的な英語力と論理的思考力を評価するため、英語、国語、数学①数学②を必須とします。また、残る1科目は選択とします。

個別学力検査等では、与えられた条件を満たす図形を描画することで、空間や立体物等の把握力・構想力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

書類審査では調査書等により、クラブ活動や社会活動等の実績、留学等の多様な経験などを参考に、主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度などを評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等（小論文）、及び書類（調査書、推薦書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では「小論文」を課し、建築・空間に関する観察力と、論理的思考による自らの判断を正しく伝えるための文章構成・表現力、思考力を評価します。

面接では、調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績や資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、大学における学習意欲とともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等（与えられた条件＜図や文章＞を満たす図形の作図）、及び書類（調査書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では、与えられた条件（図や文章）を満たす図形を作図することで、空間や立体物等の把握力・構想力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

面接では、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲を重視しつつコミュニケーション能力、倫理観とともに評価します。

書類審査では、各教科・科目の学力評価、資格・検定試験等の成績、クラブ活動や地域・社会活動の実績、留学等の多様な経験、本学の志望理由や将来展望について評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等（小論文）、及び書類（調査書、推薦書、志望理由書等）を参考にした面接により評価します。

小論文では、建築・空間に関する観察力と、論理的思考による自らの判断を正しく伝えるための文章構成・表現力・思考

力を評価します。

面接では、調査書による高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績や資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、大学における学習意欲とともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

個別学力検査等（与えられた条件＜図や文章＞を満たす図形の作図）及び書類（志望理由書等）を参考にした面接、日本留学試験、TOEFL（iBT）により評価します。

TOEFL（iBT）では国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語能力を評価します。また、日本留学試験では、「日本語の文書能力」や「数学の基礎的能力」を評価します。

個別学力検査等では与えられた条件（図や文章）を満たす図形の作図を課し、空間や立体物等の把握力・構想力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

面接では、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝える日本語の表現力を評価します。

また書類審査（志望理由書等）を参考にしながら、大学における学習意欲とともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

Ⅱ　募集人員

（人）

学　部	学　　科	入学定員	左のうち						
			一般選抜			総合型	学校推薦型	帰国生入試	私費外国人留学生入試
			前期日程	中期日程	後期日程				
保健福祉学部	看護学科	40	24	―	4	―	12	若干人	若干人
	栄養学科	40	25	―	3	―	12	若干人	若干人
	現代福祉学科	35	17	―	4	3	11	若干人	若干人
	子ども学科	25	13	―	4	―	8	若干人	若干人
情報工学部	情報通信工学科	50	14	23	―	―	13	若干人	若干人
	情報システム工学科	50	14	23	―	―	13	若干人	若干人
	人間情報工学科	40	12	15	―	―	13	若干人	若干人
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	30	18	―	―	4	8	若干人	若干人
	工芸工業デザイン学科	30	18	―	―	4	8	若干人	若干人
	建築学科	30	18	―	―	4	8	若干人	若干人

（注1）この要項において「中期日程」は「公立大学中期日程」を指します。
（注2）帰国生入試及び私費外国人留学生入試の「若干人」は、一般選抜の募集人員に含まれます。

Ⅲ　入試日程

入試区分		対象学部・学科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
一般選抜	前期日程	保健福祉学部	令和5年 1月23日（月）～ 2月3日（金）	令和5年 2月25日（土） 及び26日（日）※1	令和5年 3月6日（月）※2	令和5年 3月15日（水）
		情報工学部				
		デザイン学部				
	中期日程	情報工学部		令和5年 3月8日（水）	令和5年 3月21日（火）※2	令和5年 3月27日（月）
	後期日程	保健福祉学部 看護学科 現代福祉学科 子ども学科		令和5年 3月12日（日）		
		保健福祉学部 栄養学科		課さない		
特別入試	総合型選抜	保健福祉学部 現代福祉学科	令和4年 9月1日（木）～ 9月7日（水）	令和4年 10月8日（土） 及び9日（日）※1	令和4年 11月1日（火）	令和4年 11月18日（金）
		デザイン学部				
	学校推薦型選抜	保健福祉学部	令和4年 11月2日（水）～ 11月8日（火）※3	令和4年 11月26日（土） 及び27日（日）※1	令和4年 12月16日（金）	令和4年 12月27日（火）
		情報工学部				
		デザイン学部				
	帰国生入試	保健福祉学部	令和4年 11月2日（水）～ 11月8日（火）	令和4年 11月26日（土） 及び27日（日）※1	令和4年 12月16日（金）	令和4年 12月27日（火）
		情報工学部				
		デザイン学部				
	私費外国人留学生入試	保健福祉学部	令和4年 12月15日（木）～ 12月23日（金）	令和5年 3月12日（日）	令和5年 3月21日（火）	令和5年 3月27日（月）
		情報工学部		令和5年 2月25日（土） 及び26日（日）※1	令和5年 3月6日（月）	令和5年 3月15日（水）
		デザイン学部				

※1　一般選抜（前期日程）、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生試験の試験日は、出願状況によりいずれか1日又は2日間に分けて実施します。出願後の通知で確認してください。
※2　各学部・学科の入学定員に欠員が生じた場合は、後日、追加合格者の発表を行います。
※3　学校推薦型選抜の出願においては、インターネット出願システムから出力した出願書類を含めたすべての出願書類を、志願者ごとに高等学校長がとりまとめ、高等学校が郵送により提出するものとします。

Ⅳ　一般選抜

(1)　出願資格

次の①、②、③のいずれかに該当し、かつ、令和5年度大学入学共通テストで本学の入学志願者に解答させる教科・科目の全てを受験した者とします。

①　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者

②　通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
（「高等専門学校第3学年を令和5年3月修了見込みの者」及び「特別支援学校の高等部を令和5年3月卒業見込みの者」を含む。）

③　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳しくは本学教学課入試班へお問い合わせください。）

(2)　選抜方法・配点

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び書類審査を総合して行います。

なお、過年度の大学入試センター試験及び大学入学共通テストの成績は利用しません。また、調査書の内容や大学入学共通テストの成績による2段階選抜は行いません。

大学入学共通テスト並びに個別学力検査等の内容・配点は、次のとおりです。

（保健福祉学部 19～22 頁　情報工学部 23 頁　デザイン学部 24～25 頁）

大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項は 25 頁を参照してください。

各学科の評価基準は入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）をご参照ください。

＜保健福祉学部看護学科（前期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教科</th><th colspan="3">科目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="8">大学入学共通テスト
5教科5科目又は5教科6科目</td><td>国語</td><td>「国語」</td><td colspan="2">必須</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td>「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」,「日本史B」,「地理A」,「地理B」</td><td colspan="2" rowspan="2">から1（注1）</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td>「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>「数学Ⅰ・数学A」</td><td colspan="2">必須</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">理科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」</td><td>から2：①</td><td rowspan="2">①又は②（注2）</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>「物理」,「化学」,「生物」,「地学」</td><td>から1：②</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td colspan="2">必須</td><td>200</td><td>リーディング：160
リスニング：40</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>600</td><td></td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td colspan="5">集団面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">配点合計</td><td>700</td><td></td></tr>
</table>

（注1） 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。
（注2） ①又は②（2科目を解答した場合は第1解答科目）のうち、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。
※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25 頁）も参照してください。

＜保健福祉学部看護学科（後期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教科</th><th colspan="3">科目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="8">大学入学共通テスト
5教科5科目又は5教科6科目</td><td>国語</td><td>「国語」</td><td colspan="2">必須</td><td>200</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td>「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」,「日本史B」,「地理A」,「地理B」</td><td colspan="2" rowspan="2">から1（注1）</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td>「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>「数学Ⅰ・数学A」</td><td colspan="2">必須</td><td>50</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">理科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」</td><td>から2：①</td><td rowspan="2">①又は②（注2）</td><td rowspan="2">50</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>「物理」,「化学」,「生物」,「地学」</td><td>から1：②</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td colspan="2">必須</td><td>200</td><td>リーディング：160
リスニング：40</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>600</td><td></td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td colspan="5">集団面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">配点合計</td><td>700</td><td></td></tr>
</table>

（注1） 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。
（注2） ①又は②（2科目を解答した場合は第1解答科目）のうち、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。
※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25 頁）も参照してください。

＜保健福祉学部栄養学科（前期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教科</th><th colspan="4">科目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="11">大学入学共通テスト
5教科7科目又は5教科8科目</td><td>国語</td><td colspan="2">「国語」</td><td colspan="2">必須</td><td>200</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">「世界史B」,「日本史B」,「地理B」</td><td colspan="2" rowspan="2">から1
（注1）</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,
「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ・数学A」</td><td colspan="2">必須</td><td rowspan="2">200</td><td>100/科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">「数学Ⅱ・数学B」</td><td colspan="2">必須</td><td>100/科目</td></tr>
<tr><td rowspan="3">理科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,
「生物基礎」</td><td>から2</td><td>から3：①
（注2）</td><td rowspan="3">①又は②</td><td rowspan="3">200</td><td>100</td></tr>
<tr><td>「物理」,「化学」,「生物」</td><td>から1</td><td>100</td></tr>
<tr><td colspan="2">「物理」,「化学」,「生物」</td><td>から2：②</td><td>100/科目</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td colspan="2">必須</td><td>200</td><td>リーディング：160
リスニング：40</td></tr>
<tr><td colspan="5">計</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">個別学力検査等</td><td rowspan="2">理科</td><td colspan="2">「化学基礎・化学」,
「生物基礎・生物」</td><td colspan="2">から1</td><td rowspan="2">200</td><td rowspan="2">試験時間：120 分</td></tr>
<tr><td colspan="4">※解答科目は試験会場で選択可能。選択科目間で平均点に著しい差が生じた場合は、得点調整を行うことがあります。</td></tr>
<tr><td colspan="5">書類審査（調査書及び志望理由書等）</td><td>（10）</td><td>個別学力検査等の範囲内で加点</td></tr>
<tr><td colspan="6">配点合計</td><td>1,100</td><td></td></tr>
</table>

（注1） 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。
（注2） 同一名称を付した科目（例.「化学基礎」と「化学」）の選択を認めます。
※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25 頁）も参照してください。

＜保健福祉学部栄養学科（後期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教科</th><th colspan="4">科目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="11">大学入学共通テスト
5教科7科目又は5教科8科目</td><td>国語</td><td colspan="2">「国語」</td><td colspan="2">必須</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">「世界史B」,「日本史B」,「地理B」</td><td colspan="2" rowspan="2">から1
（注1）</td><td rowspan="2">50</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,
「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ・数学A」</td><td colspan="2">必須</td><td rowspan="2">200</td><td>100/科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">「数学Ⅱ・数学B」</td><td colspan="2">必須</td><td>100/科目</td></tr>
<tr><td rowspan="3">理科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,
「生物基礎」</td><td>から2</td><td>から3：①
（注2）</td><td rowspan="3">①又は②</td><td rowspan="3">200</td><td>100</td></tr>
<tr><td>「物理」,「化学」,「生物」</td><td>から1</td><td>100</td></tr>
<tr><td colspan="2">「物理」,「化学」,「生物」</td><td>から2：②</td><td>100/科目</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td colspan="2">必須</td><td>200</td><td>リーディング：160
リスニング：40</td></tr>
<tr><td colspan="5">計</td><td>750</td><td></td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td colspan="5">課さない</td><td>0</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">書類審査（調査書及び志望理由書等）</td><td>（10）</td><td>配点合計の範囲内で加点</td></tr>
<tr><td colspan="6">配点合計</td><td>750</td><td></td></tr>
</table>

（注1） 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。
（注2） 同一名称を付した科目（例.「化学基礎」と「化学」）の選択を認めます。
※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25 頁）も参照してください。

＜保健福祉学部現代福祉学科（前期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教　　科</th><th colspan="2">科　　目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="8">大学入学
共通テスト

3教科3科目
又は
3教科4科目</td><td>国　　語</td><td colspan="2">「国語」</td><td>必須</td><td>200</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">「世界史B」,「日本史B」,「地理B」</td><td rowspan="5">から1又は2（理科の「基礎を付した科目」から2）
（注）</td><td rowspan="5">100</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>公　　民</td><td colspan="2">「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,
「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td>数　　学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ・数学A」,「数学Ⅱ・数学B」,
「簿記・会計」,「情報関係基礎」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理　　科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,
「生物基礎」,「地学基礎」</td><td>から2</td></tr>
<tr><td colspan="2">「物理」,「化学」,「生物」,「地学」</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td>必須</td><td>200</td><td>リーディング：160
リスニング：40</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>500</td><td></td></tr>
<tr><td>個別学力
検査等</td><td colspan="3">個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">配点合計</td><td>600</td><td></td></tr>
</table>

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25 頁）も参照してください。

＜保健福祉学部現代福祉学科（後期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教　　科</th><th colspan="2">科　　目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="8">大学入学
共通テスト

3教科3科目
又は
3教科4科目</td><td>国　　語</td><td colspan="2">「国語」</td><td>必須</td><td>200</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">「世界史B」,「日本史B」,「地理B」</td><td rowspan="5">から1又は2（理科の「基礎を付した科目」から2）
（注）</td><td rowspan="5">100</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>公　　民</td><td colspan="2">「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,
「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td>数　　学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ・数学A」,「数学Ⅱ・数学B」,
「簿記・会計」,「情報関係基礎」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理　　科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,
「生物基礎」,「地学基礎」</td><td>から2</td></tr>
<tr><td colspan="2">「物理」,「化学」,「生物」,「地学」</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td>必須</td><td>200</td><td>リーディング：160
リスニング：40</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>500</td><td></td></tr>
<tr><td>個別学力
検査等</td><td colspan="3">個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">配点合計</td><td>600</td><td></td></tr>
</table>

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25 頁）も参照してください。

＜保健福祉学部子ども学科（前期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教　　科</th><th colspan="2">科　　目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="8">大学入学共通テスト
3教科3科目又は3教科4科目</td><td>国　　語</td><td colspan="2">「国語」</td><td>必須</td><td>200</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">「世界史B」,「日本史B」,「地理B」</td><td rowspan="5">から1又は2（理科の「基礎を付した科目」から2）
（注）</td><td rowspan="5">200</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>公　　民</td><td colspan="2">「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,
「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td>数　　学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ・数学A」,「数学Ⅱ・数学B」,
「簿記・会計」,「情報関係基礎」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理　　科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,
「生物基礎」,「地学基礎」</td><td>から2</td></tr>
<tr><td colspan="2">「物理」,「化学」,「生物」,「地学」</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td>必須</td><td>200</td><td>リーディング：160
リスニング：40</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>600</td><td></td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td colspan="3">個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">配点合計</td><td>700</td><td></td></tr>
</table>

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25 頁）も参照してください。

＜保健福祉学部子ども学科（後期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教　　科</th><th colspan="2">科　　目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="8">大学入学共通テスト
3教科3科目又は3教科4科目</td><td>国　　語</td><td colspan="2">「国語」</td><td>必須</td><td>200</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">「世界史B」,「日本史B」,「地理B」</td><td rowspan="5">から1又は2（理科の「基礎を付した科目」から2）
（注）</td><td rowspan="5">200</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>公　　民</td><td colspan="2">「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,
「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td>数　　学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ・数学A」,「数学Ⅱ・数学B」,
「簿記・会計」,「情報関係基礎」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理　　科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,
「生物基礎」,「地学基礎」</td><td>から2</td></tr>
<tr><td colspan="2">「物理」,「化学」,「生物」,「地学」</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td>必須</td><td>200</td><td>リーディング：160
リスニング：40</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>600</td><td></td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td colspan="3">個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">配点合計</td><td>700</td><td></td></tr>
</table>

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25 頁）も参照してください。

＜情報工学部情報通信工学科・情報システム工学科・人間情報工学科（前期日程）＞

試験区分	教科	科目		配点	備考
大学入学共通テスト 4教科6科目	国語	「国語」	必須	100	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	100	50
		「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」	から1		50
	理科	「物理」	必須	200	100
		「化学」,「生物」,「地学」	から1		100
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:160 リスニング:40
	計			600	
個別学力検査等	数学	「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」, 「数学A」,「数学B(数列・ベクトル)」		300	試験時間:120分 解答方法:記述式
	書類審査(調査書等)			(10)	個別学力検査等の範囲内で加点
配点合計				900	

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(25頁)も参照してください。

＜情報工学部情報通信工学科・情報システム工学科・人間情報工学科（中期日程）＞

試験区分	教科	科目		配点	備考
大学入学共通テスト 4教科6科目	国語	「国語」	必須	100	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	100	50
		「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」	から1		50
	理科	「物理」	必須	150	100
		「化学」,「生物」,「地学」	から1		50
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	100	リーディング:80 リスニング:20
	計			450	
個別学力検査等	数学	「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」, 「数学A」,「数学B(数列・ベクトル)」		300	試験時間:120分 解答方法:記述式
	書類審査(調査書等)			(10)	個別学力検査等の範囲内で加点
配点合計				750	

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(25頁)も参照してください。

＜デザイン学部ビジュアルデザイン学科（前期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教科</th><th colspan="4">科目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="8">大学入学共通テスト
4教科4科目又は4教科5科目</td><td>国語</td><td colspan="2">「国語」</td><td colspan="2">必須</td><td>150</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」,「日本史B」,「地理A」,「地理B」</td><td rowspan="2">から1</td><td rowspan="5">から2又は3（理科の「基礎を付した科目」から2及び理科以外の教科の科目から1）
（注）</td><td rowspan="5">200</td><td rowspan="5">100/科目・基礎付き2科目</td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td>数学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ・数学A」,「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」</td><td>から1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」</td><td>から2：①</td><td rowspan="2">①又は②</td></tr>
<tr><td>「物理」,「化学」,「生物」,「地学」</td><td>から1：②</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td colspan="2">必須</td><td>150</td><td>リーディング：120
リスニング：30</td></tr>
<tr><td colspan="5">計</td><td>500</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">個別学力検査等</td><td colspan="5">実技（想定描写を含む鉛筆デッサン）</td><td>300</td><td>試験時間：180分
B3ケントボード使用</td></tr>
<tr><td colspan="5">書類審査（調査書等）</td><td>（10）</td><td>個別学力検査等の範囲内で加点</td></tr>
<tr><td colspan="6">配点合計</td><td>800</td><td></td></tr>
</table>

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25頁）も参照してください。

＜デザイン学部工芸工業デザイン学科（前期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教科</th><th colspan="4">科目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="8">大学入学共通テスト
3教科3科目又は3教科4科目</td><td>国語</td><td colspan="2">「国語」</td><td colspan="2">必須</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」,「日本史B」,「地理A」,「地理B」</td><td rowspan="5">から1又は2（理科の「基礎を付した科目」から2）
（注）</td><td rowspan="5">100</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td>数学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ」,「数学Ⅰ・数学A」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」</td><td>から2</td></tr>
<tr><td colspan="2">「物理」,「化学」,「生物」,「地学」</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td colspan="2">必須</td><td>100</td><td>リーディング：80
リスニング：20</td></tr>
<tr><td colspan="5">計</td><td>300</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">個別学力検査等</td><td colspan="5">実技（鉛筆デッサン）</td><td>300</td><td>解答時間：180分
B3ケントボード使用</td></tr>
<tr><td colspan="5">書類審査（調査書等）</td><td>（10）</td><td>個別学力検査等の範囲内で加点</td></tr>
<tr><td colspan="6">配点合計</td><td>600</td><td></td></tr>
</table>

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25頁）も参照してください。

＜デザイン学部建築学科（前期日程）＞

<table>
<tr><th>試験区分</th><th>教　　科</th><th colspan="3">科　　目</th><th>配点</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="9">大学入学共通テスト
4教科5科目又は4教科6科目</td><td>国　　語</td><td colspan="2">「国語」</td><td>必須</td><td>200</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">地理歴史</td><td>「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」,「日本史B」,「地理A」,「地理B」</td><td rowspan="2">から1：①</td><td rowspan="2">①、②又は③（注）</td><td rowspan="2">（100）※</td><td rowspan="2">※地理歴史、公民、理科のいずれかで100</td></tr>
<tr><td>公　　民</td><td>「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,「倫理,政治・経済」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数　　学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ」,「数学Ⅰ・数学A」</td><td>から1</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">「数学Ⅱ」,「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」</td><td>から1</td><td>100</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">理　　科</td><td>「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」</td><td>から2：②</td><td rowspan="2">①、②又は③（注）</td><td rowspan="2">（100）※</td><td rowspan="2">※地理歴史、公民、理科のいずれかで100</td></tr>
<tr><td>「物理」,「化学」,「生物」,「地学」</td><td>から1：③</td></tr>
<tr><td>外　国　語</td><td colspan="2">「英語（リスニングの成績も利用する）」</td><td>必須</td><td>200</td><td>リーディング：160
リスニング：40</td></tr>
<tr><td colspan="4">計</td><td>700</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">個別学力検査等</td><td colspan="4">実技（与えられた条件（図や文章）を満たす図形の作図）</td><td>200</td><td>解答時間：120分
A3用紙使用</td></tr>
<tr><td colspan="4">書類審査（調査書等）</td><td>（10）</td><td>個別学力検査等の範囲内で加点</td></tr>
<tr><td colspan="6">配点合計</td><td>900</td><td></td></tr>
</table>

（注）　解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目）のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※　大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（25 頁）も参照してください。

（大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項）

1　「簿記・会計」と「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

2　「英語（リスニングの成績も利用する）」については、「リーディング」及び「リスニング」の両方の解答を必須とします。ただし、重度難聴などで「リスニング」を免除された者を除きます。

なお、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」の得点を外国語の教科の配点に換算します。

3　理科の「基礎を付した科目」は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指し、理科の「基礎を付さない科目」は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。

(3)　追試験

新型コロナウイルス感染症等に罹患又は罹患したおそれのある入学志願者の受験機会を確保するため、追試験対象者に対して追試験を行います。

<table>
<tr><th colspan="2">対象学部・学科</th><th>対象日程</th><th>追試験日</th><th>個別学力検査等の教科・科目等</th><th>試験時間</th><th>合格発表日</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">保健福祉学部</td><td>前期日程</td><td colspan="3" rowspan="5">追試験対象者に対し、個別学力検査を課さずに、大学入学共通テストの成績等を合否判定に利用します。</td><td>令和5年
3月6日（月）</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>令和5年
3月21日（火）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">情報工学部</td><td>前期日程</td><td>令和5年
3月6日（月）</td></tr>
<tr><td>中期日程</td><td>令和5年
3月21日（火）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">デザイン学部</td><td>ビジュアル
デザイン学科</td><td rowspan="3">前期日程</td><td rowspan="2">令和5年
3月12日（日）</td><td rowspan="3">実技（鉛筆デッサン）
書類審査</td><td rowspan="3">180 分</td><td rowspan="3">令和5年
3月21日（火）</td></tr>
<tr><td>工芸工業
デザイン学科</td></tr>
<tr><td>建築学科</td><td>個人面接※および書類審査
※試問（図形問題）を含む</td><td>－</td></tr>
</table>

なお、追試験の対象として認定される者は次のいずれかです。手続き方法等は後日公表する学生募集要項をご確認ください。

ア　疾病（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス・風邪等を含む。）により本試験を受験できない者

イ　保健所や所属する学校等から新型コロナウイルス罹患者の濃厚接触者に該当するとされ、隔離（自宅待機等）を要請された者（ただし、無症状の濃厚接触者で、本学が別に示す要件を満たし、本試験を受験した者を除く）

Ⅴ　特別入試

1　総合型選抜

保健福祉学部現代福祉学科及びデザイン学部の全学科で実施します。

(1)　出願資格

次の①、②、③のいずれかに該当し、かつ④に該当する者とします。

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者

② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
（「高等専門学校第3学年を令和5年3月修了見込みの者」及び「特別支援学校の高等部を令和5年3月卒業見込みの者」を含む。）

③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの者
（学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳しくは本学教学課入試班へお問い合わせください。）

④ 各学部（又は学科）が定める次の要件に該当する者

学　部	学　　科	要　　件
保健福祉学部	現代福祉学科	本学での勉学及び地域社会や国際社会における諸活動への参加に強い意欲があり、合格した場合必ず入学することを確約できる者
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	本学での勉学に強い意欲があり、合格した場合必ず入学することを確約できる者
	工芸工業デザイン学科	
	建築学科	

(2)　選抜方法・配点

学　部	学　科	個別学力検査等	配　点	配点合計	備考
保健福祉学部	現代福祉学科	個人面接※及び書類審査 ※試問（英語、公民）を含む	100	100	試問（公民）は、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」又は「倫理、政治・経済」から1科目を選択してもらいます。
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	実技（与えられた条件（図や文章）を満たす立体物の描写）	200	400	試験時間：120 分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	工芸工業デザイン学科	実技（鉛筆デッサン）	300	500	試験時間：120 分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	建築学科	実技（与えられた条件（図や文章）を満たす図形の作図）	150	300	試験時間：120 分 A3用紙使用
		個人面接及び書類審査	150		

（注） 令和5年度大学入学共通テストは課しません。

各学科の評価基準は入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）をご参照ください。

２　学校推薦型選抜

全学部・学科で実施します。

(1)　出願資格

次の①又は②に該当し、かつ、③、④のいずれにも該当する者とします。

① 岡山県内の高等学校を令和5年3月卒業見込みの者
（「高等学校を令和5年3月卒業見込みの者」には、「中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者」、「高等専門学校第3学年を令和5年3月修了見込みの者」及び「特別支援学校の高等部を令和5年3月卒業見込みの者」を含む。以下同じ。）

② 岡山県外の高等学校を令和5年3月卒業見込みの者で、本人又は保護者が令和4年4月1日から引き続き岡山県内に住所を有している者

③ 本学での勉学に強い意欲があり、人物および志望する学部・学科に対する適性を高等学校長が責任を持って推薦できる者で、合格した場合必ず入学することを確約できる者

④ 各学部（又は学科）が定める次の要件に該当する者

学部	学科	要件
保健福祉学部	看護学科	1　調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2　推薦できる人数は、1高等学校につき2人までとします。
	栄養学科	1　調査書の学習成績概評がA段階に属する者
	現代福祉学科	1　調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上ある者 2　推薦できる人数は、1高等学校につき2人までとします。
	子ども学科	1　調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上ある者 2　推薦できる人数は、1高等学校につき2人までとします。
情報工学部	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	1　次のいずれかに該当する者 （1）調査書の学習成績概評がA段階に属する者 （2）調査書の全体の学習成績の状況が 3.6 以上で、かつ、物理又は理数物理、数学Ⅲ又は理数数学Ⅱを履修している者 2　推薦できる人数は、1高等学校につき本学部1学科当たり3人、計9人までとします。
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	次のいずれかに該当する者 （1）調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上ある者 （2）調査書の全体の学習成績の状況が 3.5 以上で、かつ、学科の専門に関連する分野（美術・デザイン等）における本学での勉学に強い意欲があると認められる者
	工芸工業デザイン学科	
	建築学科	次のいずれかに該当する者 （1）調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上ある者 （2）調査書の全体の学習成績の状況が 3.5 以上で、かつ、学科の専門に関連する分野（建築・美術・デザイン等）における本学での勉学に強い意欲があると認められる者

(2) 選抜方法・配点

学部	学科	個別学力検査等	配点	配点合計	備考
保健福祉学部	看護学科	小論文	200	300	試験時間:120 分
		個人面接※及び書類審査 ※試問(英語)を含む	100		
	栄養学科	小論文	50	200	試験時間:120 分
		個人面接※及び書類審査 ※試問(英語、理科)を含む	150		試問(理科)は、「化学基礎」及び「生物基礎」の2科目から出題します。ただし、これら2科目のうち1科目のみを履修している場合は、当該1科目からの出題とし、1科目当たりの問題数を2倍にして行います。
	現代福祉学科 子ども学科	小論文	200	400	試験時間:120 分
		個人面接※及び書類審査 ※試問(英語)を含む	200		
情報工学部	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	個人面接※及び書類審査 ※試問(数学、理科及び英語)を含む	200	200	試問(数学)は、「数学Ⅰ」、「数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」及び「数学Ⅲ」から、試問(理科)は、「物理基礎」及び「物理」から出題します。
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)	200	400	試験時間:180 分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	工芸工業デザイン学科	実技(鉛筆デッサン)	200	400	試験時間:180 分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	建築学科	小論文	150	300	試験時間:120 分
		個人面接及び書類審査	150		

(注1) 令和5年度大学入学共通テストは課しません。
(注2) 合否の判定に当たって、各学科の学校推薦型選抜募集人員による合格者の中に、「専門学科のうち職業系学科」又は「総合学科」を卒業する見込みの者がいない場合は、当該者のうち基準点以上の成績最上位者1人を別枠で合格者とします。

各学科の評価基準は入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)をご参照ください。

3　帰国生入試

全学部・学科で実施します。

(1)　出願資格

日本国籍を有する者又は日本国内の永住許可を得ている者のうち、外国の学校教育を受けた者で、次の①、②、③、④、⑤、⑥のいずれかに該当する者とします。

① 外国において、学校教育における12年の課程を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者(注)、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者(学校教育法施行規則第150条第1号)

上記の12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて2学年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。ただし、外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

② スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和3年又は令和4年に授与された者

③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和3年又は令和4年に得た者

④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和3年又は令和4年に得た者

⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を令和3年又は令和4年に得た者

⑥ 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた外国に設置された教育施設の12年の課程を令和3年又は令和4年に修了した者

(注)大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、「飛び級」等により通算教育年数が12年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含みます。

(2)　選抜方法・配点

学　部	学　　科	個別学力検査等	配　点	配点合計	備考
保健福祉学部	看護学科	小論文	200	300	試験時間:120 分
		個人面接(日本語)及び書類審査	100		
	栄養学科	小論文	50	200	試験時間:120 分
		個人面接(日本語)※及び書類審査 ※試問(理科)を含む	150		試問(理科)は、「化学基礎」及び「生物基礎」の2科目から出題します。ただし、これら2科目のうち1科目のみを履修している場合は、当該1科目からの出題とし、1科目当たりの問題数を2倍にして行います。
	現代福祉学科 子ども学科	小論文	200	400	試験時間:120 分
		個人面接(日本語)及び書類審査	200		
情報工学部	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	個人面接(日本語)※及び書類審査 ※試問(数学、物理及び英語)を含む	200	200	
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)	200	400	試験時間:180 分 B3ケントボード使用
		個人面接(日本語)及び書類審査	200		
	工芸工業デザイン学科	実技(鉛筆デッサン)	100	200	試験時間:180 分 B3ケントボード使用
		個人面接(日本語)及び書類審査	100		
	建築学科	小論文	150	300	試験時間:120 分
		個人面接(日本語)及び書類審査	150		

(注1)　令和5年度大学入学共通テストは課しません。
(注2)　小論文及び実技は日本語で出題します。

各学科の評価基準は入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)をご参照ください。

4　私費外国人留学生入試

全学部・学科で実施します。

(1)　出願資格

次の①、②、③のいずれにも該当し、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が実施する2022年度日本留学試験及びTOEFL（iBT）を受験した者とします。

① 日本国籍を有しない者

② 次のいずれかに該当する者

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（学校教育法施行規則第150条第1号）

イ スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者

ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

オ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者

カ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者

③ 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学手続後に「留学」の在留資格を取得できる者

(2)　選抜方法・配点

学部・学科		個別学力検査等	配　点	配点合計	備考
保健福祉学部	看護学科	日本留学試験【出題言語：日本語又は英語】 日本語 理科（2科目選択） 数学（コース1）	400	800	実施時期： 6 月又は 11 月
		TOEFL（iBT）	200		
		個人面接（日本語）及び書類審査	200		
	栄養学科	日本留学試験【出題言語：日本語又は英語】 日本語 理科（2科目選択） 数学（コース1）	400	800	実施時期： 6 月又は 11 月
		TOEFL（iBT）	200		
		個人面接（日本語）※及び書類審査 ※試問（理科）を含む	200		
	現代福祉学科 子ども学科	日本留学試験【出題言語：日本語又は英語】 日本語	400	800	実施時期： 6 月又は 11 月
		TOEFL（iBT）	200		
		個人面接（日本語）及び書類審査	200		
情報工学部		日本留学試験【出題言語：日本語】 日本語 理科（2科目選択・うち物理必須） 数学（コース2）	400	1,000	実施時期： 6 月又は 11 月
		TOEFL（iBT）	200		
		個人面接（日本語）※及び書類審査 ※試問（数学、物理）を含む	400		

学部・学科		個別学力検査等	配　点	配点合計	備考
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	日本留学試験【出題言語：日本語又は英語】 日本語	50	300	実施時期：11 月
		TOEFL（iBT）	50		
		実技（想定描写を含む鉛筆デッサン）	100		試験時間：180 分 B3ケントボード使用
		個人面接（日本語）及び書類審査	100		
	工芸工業デザイン学科	日本留学試験【出題言語：日本語又は英語】 日本語	50	400	実施時期：11 月
		TOEFL（iBT）	50		
		実技（鉛筆デッサン）	200		試験時間：180 分 B3ケントボード使用
		個人面接（日本語）及び書類審査	100		
	建築学科	日本留学試験【出題言語：日本語又は英語】 日本語 数学（コース1）	200	900	実施時期：11 月
		TOEFL（iBT）	100		
		実技（与えられた条件（図や文章）を満たす図形の作図）	300		試験時間：120 分 A3用紙使用
		個人面接（日本語）及び書類審査	300		

（注1） 令和5年度大学入学共通テストは課しません。
（注2） 日本留学試験に科目ごとの配点はありません。
（注3） TOEFL（iBT）は Home Edition は対象となりません。
（注4） 実技は日本語で出題します。

各学科の評価基準は入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）をご参照ください。

Ⅵ　障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の期日までに本学教学課入試班へ連絡し、相談してください。

1　事前相談の期日

（1）総合型選抜　　：令和4年　8月12日（金）
（2）学校推薦型選抜及び帰国生入試　：令和4年10月11日（火）
（3）私費外国人留学生入試　　：令和4年12月　2日（金）
（4）一般選抜　　：令和5年　1月17日（火）

なお、受験上及び修学上の配慮事項についての決定通知があるまでは出願登録しないでください。**相談の内容によっては対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。**

2　相談の方法

電話などにより事前に相談した上で、次の書類を提出してください。

（1）出願に関する協議書（本学指定様式）
（2）医師の診断書（任意様式で医師が作成したもの）
（3）障害者手帳の写し（交付を受けている者）
（4）大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書の写し（通知書が手元にある者）
（5）その他相談する際に必要と思われる参考資料（任意様式）

Ⅶ　学生募集要項等の入手方法

○学生募集要項の入手方法

本学のウェブサイトに電子ファイル（PDF 形式）にて発表しますので、下記のページから閲覧・ダウンロードをしてください。紙媒体（冊子）の配付は行いません。

岡山県立大学ウェブサイト（URL：https://www.oka-pu.ac.jp/）のトップページから
「入試情報」→「学部入試」→「入学者選抜要項・学生募集要項」をご覧ください。

＜発表時期＞

総合型選抜 ……令和4年　8月上旬
学校推薦型選抜……令和4年10月上旬
帰国生入試 ……令和4年10月上旬
私費外国人留学生入試……令和4年10月上旬
一般選抜 ……令和4年11月中旬

○大学案内の入手方法

1　テレメールで請求

下記の URL にアクセスし、案内に従い操作してください。
https://telemail.jp/

本学の資料請求番号

資　料　名	資料請求番号	料金（送料含）
大学案内	566152	215円

※　請求から3～5日で資料が届きます。一週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンター（050-8601-0102（受付時間　9:30～18:00））までお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は、発送開始日に一斉に発送されます。

2　大学情報センターの「モバっちょ」で請求

下記のURLにアクセスし、案内に従い操作してください。
https://djc-mb.jp/oka-pu3/

3　本学に直接請求

請求する封筒の表面に必ず「○○希望」（○○は希望する資料名）と朱書し、返信用封筒（[角形2号]（縦 332mm×横　240mm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、該当する料金分の切手を貼付）を同封の上、申し込んでください。切手の料金は、本学ウェブサイトの「資料請求」のページをご参照ください。

（注）返信用封筒のない場合又は切手不足の場合は送付できません。

4　大学窓口での配付

平日（祝日を除く）の8時40分から17時15分まで、事務局教学課窓口で配付します。

※本学ウェブサイト上でも、デジタルパンフレットをご覧いただけます。

令和４年度岡山県立大学入学者選抜試験の実施状況

学部	学科	総合型選抜				学校推薦型選抜				一般選抜（前期日程）				一般選抜（中・後期日程）				帰国生入試			私費外国人留学生入試			合計		
		募集人員	受験者数（志願者数）	合格者数	実質倍率（志願倍率）	募集人員	受験者数（志願者数）	合格者数	実質倍率（志願倍率）	募集人員	受験者数（志願者数）	合格者数	実質倍率（志願倍率）	募集人員	受験者数（志願者数）	合格者数	実質倍率（志願倍率）	募集人員	受験者数（志願者数）	合格者数	募集人員	受験者数（志願者数）	合格者数	募集人員	受験者数（志願者数）	合格者数
保健福祉	看護	－	－	－	－	12	40 (40)	14	2.9 (3.3)	20	62 (63)	20	3.1 (3.2)	8	47 (111)	11	4.3 (13.9)	若干名	2 (2)	2	若干名	0 (0)	0	40	151 (216)	47
	栄養	－	－	－	－	12	23 (23)	12	1.9 (1.9)	25	80 (88)	31	2.6 (3.5)	3	52 (52)	3	17.3 (17.3)	若干名	0 (0)	0	若干名	0 (0)	0	40	155 (163)	46
	現代福祉	3	33 (33)	3	11.0 (11.0)	11	27 (27)	11	2.5 (2.5)	17	33 (39)	22	1.5 (2.3)	4	9 (45)	5	1.8 (11.3)	若干名	0 (0)	0	若干名	0 (0)	0	35	102 (144)	41
	子ども	－	－	－	－	8	24 (24)	9	2.7 (3.0)	13	23 (24)	15	1.5 (1.8)	4	8 (24)	6	1.3 (6.0)	若干名	0 (0)	0	若干名	0 (0)	0	25	55 (72)	30
情報工	情報通信工	－	－	－	－	13	29 (29)	14	2.1 (2.2)	14	42 (43)	18	2.3 (3.1)	23	244 (471)	70	3.5 (20.5)	若干名	1 (1)	1	若干名	0 (0)	0	50	316 (544)	103
	情報システム工	－	－	－	－	13	27 (27)	15	1.8 (2.1)	14	61 (65)	17	3.6 (4.6)	23	438 (841)	100	4.4 (36.6)	若干名	0 (0)	0	若干名	0 (0)	0	50	526 (933)	132
	人間情報工	－	－	－	－	13	26 (26)	13	2.0 (2.0)	12	38 (39)	15	2.5 (3.3)	15	109 (216)	34	3.2 (14.4)	若干名	0 (0)	0	若干名	0 (0)	0	40	173 (281)	62
デザイン	ビジュアルデザイン	4	48 (48)	4	12.0 (12.0)	8	19 (19)	8	2.4 (2.4)	18	49 (52)	19	2.6 (2.9)	―	―	―	―	若干名	1 (1)	0	若干名	0 (0)	0	30	117 (120)	31
	工芸工業デザイン	4	15 (15)	4	3.8 (3.8)	8	8 (8)	7	1.1 (1.0)	18	35 (37)	22	1.6 (2.1)	―	―	―	―	若干名	0 (0)	0	若干名	0 (0)	0	30	58 (60)	33
	建築	4	28 (28)	4	7.0 (7.0)	8	18 (18)	9	2.0 (2.3)	18	49 (51)	19	2.6 (2.8)	―	―	―	―	若干名	0 (0)	0	若干名	0 (0)	0	30	95 (97)	32
合計		15	124 (124)	15	8.3 (8.3)	106	241 (241)	112	2.2 (2.3)	169	472 (501)	198	2.4 (3.0)	80	907 (1,760)	229	4.0 (22.0)	若干名	4 (4)	3	若干名	0 (0)	0	370	1,748 (2,630)	557

1 学校推薦型選抜は岡山県内高等学校等を令和4年3月卒業見込者及び、本人又は保護者が岡山県内在住者で岡山県外高等学校等を令和4年3月卒業見込者を対象として行った。
2 実質倍率＝受験者数／合格者数
3 志願倍率＝志願者数／募集人員
4 合格者数には、追加合格者を含む。
5 後期日程の栄養学科の受験者数は、出願者数を表示している。

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

岡山県立大学事務局教学課入試班

〒719-1197　岡山県総社市窪木１１１

℡　0866-94-9161（直通）

0866-94-2111（代表）

ウェブサイト　https://www.oka-pu.ac.jp/

電子メール　nyushi@oka-pu.ac.jp